



# 田中幸太郎県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

“ふるさとちば”のための政策推進を

弱を弱

## 2月県議会予算委員会

江戸川第一  
終末処理場

## 拡張敷地の整備に使用

# 「行徳富士」の残土有効利用

田中幸太郎県議は先の県議員選挙で市川市選挙区に立候補し、トップ当選を果たしました。2期目の任期に臨む田中県議は、県民の安心・安全の確保、医療・福祉の充実、地域経済の発展などに全力を挙げて取り組んでいく姿勢を見せています。統一地方選挙に先立って開催された2月定例県議会予算委員会では質問に立ち、江戸川第一終末処理場で予定されている工事について尋ね、学校におけるいじめ問題や治水などについて質問しました。田中県議の質疑と県担当者の答弁を紹介します。

田中委員 江戸川左岸流域下水道2つ目の終末処理場として平成18年から用地買収に取り掛かり、令和3年3月に供用が開始された江戸川第一終末処理場は、流入汚水の増加に対応すべく、粛々と整備が進められている状況かと思う。

第一終末処理場では、令和5年度にどのような工事を予定しているのか。

下水道課長 令和5年度は、水処理第2系列の処理水槽築造工事を引き続き進めるとともに、新たに、臭気対策などのために、処理水槽を覆う屋根などの建築工事や、水処理を行うための機械を水槽内に設置する設備工事等に着手する予定です。

田中委員 地元自治会等にも丁寧な説明会を重ねながら進めているのを大変、有難く思う。次に、江戸川第一終末処理場の南側部分については、いつ着手するのかをうかがう。

下水道課長 全体計画で

は、水処理第5系列の整備に併せ、南側に汚泥処理施設を建設することとしています。人口減少などに伴う下水処理量の減少などから、令和5年度には、適切な施設規模への見直しや、汚泥を利用したバイオマス発電などの検討を行うことから、これらにあわせて、南側の着手時期についても検討してまいります。

田中委員 行徳富士の用地買収は、これまで住宅街に風塵被害などがあつた。そこだろうか。行徳富士の残土は敷地内で使用すると聞いているが、それではないのか。

田中委員 江戸川第一終末処理場の北側に隣接した市川市道について、拡幅の進捗状況はどうか。

下水道課長 未整備となっている約470坪の区間については、道路に隣接した処理場内の緑地の活用方針について市との協議が整い、市は道路の拡幅を、県は緑地整備を行うこととしたところとです。

県としては、市が必要とする道路拡幅用地を処理場側に確保するとともに、市道の拡幅整備に併せ、地域の方々が利用できるような緑地内を緑道として整備し、市川市のまちづくり協力してまいります。



2月県議会予算委員会で質問する田中幸太郎委員  
(議会棟の天井が一部剥離して落下の恐れがあるため、ヘルメットを着用)

田中委員 江戸川第一終末処理場の南側部分、そこには通称行徳富士がある。昭和56年ごろから、都内の建設業者が不法投棄により建設残土が堆積されて出来た山



行徳富士と称される残土の山

### 田中幸太郎 プロフィール

#### 経歴

- 1979年 市川市に生まれる  
東海大浦安高校 硬式野球部  
東海大学工学部 体育会ヨット部  
明治大学大学院ガバナンス研究科修了
- 2007年 市川市議会議員選挙初当選  
(3期連続当選)
- 2019年 千葉県議会議員選挙で初当選
- 2023年 千葉県議会議員選挙で再選

# 田中幸太郎県議、2期目へ始動

県政や市川市のまちづくりに関する相談をお気軽にどうぞ

田中幸太郎事務所 TEL 047-701-5525 FAX 047-702-5454



オンライン  
市民相談



パネルを使い、現状を指摘する田中委員

# いじめへの適切な対応 警察との積極的連携を

**田中委員** 文部科学省では、学校で重大ないじめが起きた場合は速やかに警察に通報、相談することなどを求める通知を全国に出した。これまで、学校現場では警察との連携をためらうことが多かったと思うが、学内での生徒指導や対処しきれない事案もすくなくないと思う。

現に、私が最近、確認したところ、市原市で不登校になっている中二の男子生徒が市長への手紙を送ったことで、適切な対応を取っていなかったということが確認されたということが分かった。

こういう事案を踏まえてうかがうが、学校におけるいじめ等の対応にあたり、教育委員会では関係機関とどのように連携し対応しているのか。

**児童生徒安全課長** 県教育委員会では、学校や警察等関係機関で構成する会議を毎年複数回実施し、いじめ問題への適切な対応や児童生徒の安全確保についての取り組みを進めています。各学校に対しては、児童生徒の命や安全を守ることを最優先に、問題行動がエスカレートしないように、個々の事案に応じて、警察等関係

# 豪雨の激甚化・頻発化

**田中委員** 治水対策についてうかがう。県が目指している河川整備の目標と現在の整備状況はどうか。

**河川整備課長** 現在、県では、時間50ミリ以上相当の降雨に対応した河川整備を目標としており、その整備率は約6割となっています。

**田中委員** 河川整備における課題はどのようなものか。

**河川整備課長** 河川整備において川幅を広げるための用地確保や、橋梁等の構造物改築が必要となるため、多くの時間や事業費を要することが課題と考えています。

**田中委員** 将来の気候変動予測を見据えて、県の対応はどのように考えているか。

**河川整備課長** まずは、時間50ミリ以上相当の降雨に対応した河川整備を進めてまいります。

また、今後の気候変動に伴う豪雨の激甚化・頻発化に備えるために、河川整備に加え、あらゆる関係者が協働し、地域全体で水を軽減させる流域治水を進めてまいります。

# 被害軽減に向け流域治水を

**田中委員** 将来の気候変動予測を見据えて、県の対応はどのように考えているか。

**河川整備課長** まずは、時間50ミリ以上相当の降雨に対応した河川整備を進めてまいります。

また、今後の気候変動に伴う豪雨の激甚化・頻発化に備えるために、河川整備に加え、あらゆる関係者が協働し、地域全体で水を軽減させる流域治水を進めてまいります。

**田中委員** 地震被害想定調査についてうかがう。被害想定は、令和8年度に終戦期となることから、新たな戦略の目標や施策を検討するため、来年度からの3カ年で、被害想定を見直してまいります。

**田中委員** 来年度に行う調査の内容はどうか。

**防災対策課長** 前回の被害想定で用いた地質調査などのデータに加え、さらに、震度分布や液状化予測の精度の向上を図るため、来年度は、新たに5カ所でボーリング調査を行います。あわせて、想定する地震の震源の位置や規模などについて、専門家の助言を得ながら、検討することとしています。

# 新たな防災戦略策定へ 地震被害想定を調査

**田中委員** 地震防災戦略の改訂のほか、予測結果をどのように活用していく予定か。

**防災危機管理部長** 住民の防災意識の醸成にも役立つこととしています。

また、被害想定による避難者数に基づき防災備蓄物資の必要量を算定するなど、地域防災計画をはじめとする県の防災対策に活用します。

機関と積極的に連携するよう指導しているところです。

**田中委員** 学校内で解決すればよい、大事なしたくないといった現場の風土が見受けられる。社会のルールを教えるということも我々大人の役割ではないかと思ったり。現場の判断が遅れたり、間違えたりしないようにしていただきたい。

**田中委員** アフターコロナを見据えた観光事業についてうかがう。外国人観光客誘致のターゲット国を、県はどのように設定しているのか。

**観光誘致促進課長** 様々な国・地域から千葉県を訪れていただけるよう観光情報発信等を行っているところですが、台湾、タイ、マレーシア及びベトナムについては、本県への宿泊実績が多いこと、訪日リピーターが多いことなどから、特に力を入れて実施しているところです。

**田中委員** 外国人観光客誘致のターゲット国から県内への呼び込みを、どのように取り組んでいくのか。

**観光誘致促進課長** 10月の水際対策の緩和後、海外現地での観光展や商談会への参加、現地旅行会社への訪問を再開しております。令和5年度においても、これらの取り組みを継続するとともに、インバウンドの早

# 観光誘致ターゲット国設定 台湾タイマレーシアベトナム

期回復を図るため、特に来訪者が多い台湾においては、千葉県を目的地とする旅行商品の販売促進を図るための現地でのウェブ広告などを予定しているところです。

**田中委員** 県内の信号機整備の状況はどうか。

**交通規制課長** 県内の信号機の整備につきましては、新設分として令和2年度が22基、令和3年度が15基、令和4年度は12基分の経費を計上しているところです。

県内における累計の信号基数につきましては、令和3年度末で8467基となっております。

**田中委員** 信号機に関する維持管理経費については、令和3年度は、信号関連機器の更新に要する経費が約23億5千万円であり、このほかに信号機をはじめとした交通安全施設の電気料金が約5億7千万円となっております。

なお、令和4年度の電気料金については、当初、令和3年度と同等となるものと見込んでいましたが、昨今の電気代の高騰を受け、令和4年度2月補正予算で約1億7千万円を計上したものです。

# 電気料金の高騰 信号機の維持管理費増加

**田中委員** 信号機に関する維持管理経費については、令和3年度は、信号関連機器の更新に要する経費が約23億5千万円であり、このほかに信号機をはじめとした交通安全施設の電気料金が約5億7千万円となっております。

なお、令和4年度の電気料金については、当初、令和3年度と同等となるものと見込んでいましたが、昨今の電気代の高騰を受け、令和4年度2月補正予算で約1億7千万円を計上したものです。